

2019年度

事業計画書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人新潟市スポーツ協会



2019年度 施策の方針

公益財団法人 新潟市スポーツ協会

I はじめに

昭和9年、10の競技団体で新潟市体育協会設立、昭和42年9月財団法人として多くの関係者とともに夢の実現に向けて歩み続けてきた当協会は、平成24年4月に公益財団法人として新たなスタートをきりました。昨年7月には、スポーツ協会として名称変更を行いました。

平成30年1月29日から一ヶ月間、ロシアフィギュアチームが平昌冬季五輪事前合宿に新潟市で合宿を実施していただきました。金、銀メダルを獲得、市民とのふれあい事業を開催するなど新潟市の魅力を世界に発信することが出来たことは大変喜ばしいことです。

また、10月には新市長が誕生し、本会会長として就任をいただきました。政令市の第2ステージとして、“未来に向かって「全国とつながる」「世界とつながる」拠点都市・新潟を目指し、活力のある新潟市に向けた取組みを加速させたい”とっておられることから、新会長のもとで50の加盟団体、8つの区スポーツ（体育）協会とともに連携し、より一層「市民スポーツ（生涯スポーツ）活動の普及・振興」「ジュニア選手の育成・強化」に取り組んでいきたいと考えております。

今年は、「4年に一度じゃない。一生に一度だ」をスローガンに9月20日から国内各地で「ラグビーワールドカップ2019TM」が開催、2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、ますますスポーツへの期待と注目が高まっていくと考えられます。東京五輪での事前合宿に世界チャンピオンのロシア新体操チームが新潟市で合宿を実施することが既に決まっており、フランスの空手、野球などの合宿誘致にも動いています。新潟市の魅力を世界に発信する絶好の機会と捉えていきたいと考えております。さらに2021年には、全国高校総合体育大会が北信越地区で開催され、本県では4種目が開催されると聞いています。

2022年には冬季五輪が北京で開催されます。竣工後、5年が経過したアイスアリーナでは、大変多くのアイスホッケー、フィギュアのジュニア選手が積極的に練習をしており、昨年全日本フィギュアノービスB女子シングルで優勝するなど順調に成果を出してきています。

この機運をさらに盛り上げるためにも、各加盟団体ならびに関係機関と連携を図りながら、将来構想の核ともなる「市民スポーツ活動の普及・振興」「競技水準の向上」「組織・財政基盤の確立」の三つを柱として公益事業を積極的に推進していきます。

2019年度の事業計画ならびに予算編成にあたり、長引く不況の影響で低金利状況が続いており、主財源である市補助金に頼らざるを得ない厳しい財政状況ではありますが、

スポーツを通して「明るく豊かな新潟の街づくり」となるよう市民の健康づくりのための環境整備を進めるとともに、次代を担う子ども達が大きな夢をもてるような強化策を示し、ジュニア強化を最重点に事業展開を行います。

さらには、平成28年度から柔道とボクシングの2種目でスタートした「にいがたスーパージュニア育成事業」の充実を図るためバドミントンを加え3種目に対して継続的な支援・助成など事業の充実を図り、「新潟市から世界に羽ばたく未来のオリンピック選手誕生」に期待を寄せています。

また、一層の少子高齢化社会に突入すると思われませんが、「健康寿命延伸、健康の維持・増進」を目的とした市民総合体育祭や市民綱引き大会などの主要事業をさらに充実させることで、より多くのスポーツ愛好者が参加されるよう「生涯スポーツの底辺拡大」を図っていきます。

地域に密着したスポーツ活動の展開では、その要となる区スポーツ（体育）協会を支援するとともにスポーツとの出会いとなるスポーツ少年団活動にも注視してまいります。

組織としては、公益性を求められていることから、加盟団体への支援とともに不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを大前提におき、全ての事業において「社会貢献」を意識して取り組んでまいります。

今後とも公益財団法人として平成27年に策定した「将来構想」の実現に向け、「スポ柳都にいがた」プランとの連携を図ってまいります。関係者の皆様のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

<2018年2月>
新潟市民綱引き大会の様様



Ⅱ 事業の推進施策

1 市民スポーツ活動の普及・振興

- (1) 多様化するスポーツニーズに対応し、競技の普及・振興を図るため「春季・秋季市民総合体育祭」「市民サッカー大会」や冬季間の運動不足の解消を図るために実施している「市民綱引き大会」等を開催するとともに種目別競技団体および区スポーツ（体育）協会と連携して事業の拡大を図る。
- (2) 種目別団体が開催する主要大会への共催・後援事業として支援する。
- (3) 指導者研修会を開催し、指導者の資質の向上を図るとともに関係機関と協力してジュニア層の活動団体組織の整備強化を図り、地域に根ざしたスポーツ少年団およびジュニアスポーツクラブの活動を支援する。

- (4) 「健康・体力づくりのつどい」を開催し、スポーツを通じて「健康で明るい市民の育成」に努めるとともにスポーツ少年団対抗たすきりレーマラソンの開催によりスポーツ少年団同士の交流を促進する。
- (5) 競技団体が行う国際スポーツ交流事業に支援し、交流を促進する。

2 競技水準の向上

- (1) 次代を担うジュニア選手の育成・強化を図るため、種目別団体が行うジュニア強化事業に対して的確な方針を示し、全国・国際水準を目指す選手の養成に対し助成・支援する。
- (2) 2020年の東京五輪やその先の2022年の北京冬季五輪やパリ、ロサンゼルス五輪に向けて、本市から日の丸をつけて活躍する選手の育成や競技力の向上を目指す「にいがたスーパージュニア育成事業」の拡充を図る。また、循環機能の構築を推進する。(新潟市で育ち、中央で活躍後、新潟に戻りジュニアの育成)
- (3) 顕著な成績をおさめたジュニア選手優秀競技者表彰を行い、その栄誉を讃えさらなる活躍を期待する。また、年間を通じて最も活躍し、話題を提供した選手または団体に対してスポーツグランプリ表彰を行い、オリンピック、国体等で盛り上がったスポーツ熱を継続するとともにスポーツの社会的地位向上を図る。

<2018年12月>

にいがたスーパージュニア育成事業:バドミントン
ヨネックス「櫻本・高畑ペア」(写真左奥)



3 組織・財政基盤の確立

- (1) 公益財団法人として一層のスポーツ振興ならびに社会的信頼の確立を図る。また、自立化に向け策定した「将来構想」の実現のため、実施計画に基づき、具体的な事業に取り組む。【体協(スポーツ)会館整備・促進、自販機収入の継続、確保】
- (2) 政令指定都市スポーツ協会として、安定した財団の運営を図るとともに区スポーツ(体育)協会の組織充実・発展に努める。
- (3) 財政基盤の安定を図るため、
 - ①基本財産の安定かつ有効的な運用に努める。
 - ②賛助会員の新規獲得に努める。
 - ③自主財源の確保に向けた事業を推進する。
- (4) 加盟団体および区スポーツ(体育)協会の支援を行い、組織基盤の整備・強化に努める。
- (5) 広報活動として広報紙「躍動」を発刊するほか、ホームページを活用して、本会のPRに努めるとともに関係機関との連携を図る。

Ⅲ 公益目的事業(公1)

1 講習会・研修会事業 (予算額：300,000円)

市民が運動を通して健康づくりに関する取り組みの一助とするとともに機運の醸成を図るほか、本市の競技力向上に向けて競技種目指導者の育成を行う。

(1) 市民スポーツ講習会

市民を対象に、体力測定など健康づくりに関する取り組みとして「健康・体力づくりのつどい」を開催し、健康づくりの機運醸成を図る。

- ・開催日：10月6日
- ・開催場所：新潟市陸上競技場
- ・参加対象者：市民
- ・参加見込数：1,000人

(2) スポーツ指導者研修会

県内外より専門家を招へいすることで、スポーツ指導者の資質向上を図るとともに競技力向上を目指す。

- ・開催日：2020年3月中旬
- ・開催場所：新潟市内体育施設
- ・参加対象者：スポーツ指導者および指導者を目指す学生等
- ・参加募集数：100人

2 主催・共催事業(スポーツ大会等) (予算額：3,713,000円)

当協会および新潟市、加盟団体、各実行委員会が主催・共催となり、スポーツを通して市民の健康増進と競技水準の向上を図ることを目的に、市内の体育施設にて各種スポーツ大会を開催する。

(1) 第55回市民総合体育祭

スポーツを通して市民の健康増進と競技力の向上を目的に、主管する加盟競技団体へ運営の助成を行い、各種目別のスポーツ大会を開催する。

- ・参加競技数：春季24競技，秋季35競技（平成30年度実績）
- ・開催期間：春季4月～6月，秋季8月～2020年3月
- ・開催場所：新潟市内体育施設 他
- ・参加対象者：市民
- ・参加見込数：18,000人

(2) 第19回市民サッカー大会

サッカー大会の開催を通して、市民の一層の健康づくりとスポーツ振興を図る。

- ・開催期間：6月9日～7月20日
- ・開催場所：新潟市陸上競技場 他
- ・参加対象者：市民
- ・参加見込数：1,200人

(3) 新潟しんきんカップ 第31回市民綱引き大会

冬期間の運動不足解消と綱引きの普及・振興を目的に、地域スポーツの振興と市民相互の親睦を図る。

- ・開催日：2020年2月23日
- ・開催場所：新潟市鳥屋野総合体育館

- ・参加対象者：市民
- ・参加見込数：700人

(4) 市民親善ゴルフ大会

生涯スポーツの一環として、ゴルフを通して市民の健康増進および参加者相互の親睦を図る。

- ・開催日：夏季7月13日，秋季9月28日
- ・開催場所：夏季 新津CC，秋季 新潟GC
- ・参加対象者：市民
- ・参加募集数：各200人

(5) 健康・体づくりのつどい2019

市民が健康でいつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指す。

- ・開催日：10月6日
- ・開催場所：新潟市陸上競技場
- ・参加対象者：市民
- ・参加見込数：2,200人

(6) イベント等開催支援

スポーツの普及・振興に意義あるイベント等開催について支援を行なう。

①新潟市早起き野球大会

- ・開催日：5月19日～7月28日
- ・開催場所：新潟市鳥屋野運動公園野球場他
- ・参加対象者：市内在住または市内に勤務する者、市内在学の大学生他
- ・参加見込数：150チーム（平成30年度実績）

②少年少女スポーツ大会

- ・開催日：7月13日～8月4日
- ・開催場所：新潟市陸上競技場、新潟市鳥屋野総合体育館他
- ・参加対象者：市内児童
- ・参加見込数：320チーム（平成30年度実績）

③2019新潟シティライド

- ・開催日：6月2日
- ・開催場所：新潟市陸上競技場発着コース
ロングライド（120km）、ミドルライド（70km）、ショートライド（33km）
- ・参加対象者：小学生以上
- ・参加者募集数：750人

④第37回新潟シティマラソン

- ・開催日：10月13日
- ・開催場所：デンカビックスワン発・市陸上競技場着の公認コース
- ・参加対象者：市民
- ・参加募集数：12,000人

3 強化事業 (予算額：9,700,000円)

市内ジュニア選手の競技力向上を目的に、加盟団体と連携を図りながら将来有望な選手の育成に取り組む。

(1) ジュニア強化事業 (実施期間：通年) 内訳：6,700,000円

スポーツ振興と競技水準向上のために、ジュニア強化事業に関わる経費を助成し、計画的・継続的な強化練習等を行うことでジュニア層の育成・強化等の事業に寄与する。

- ・実施団体 ①体操協会 ②水泳協会 ③陸上競技協会 ④柔道連盟 ⑤レスリング協会
⑥バレーボール協会 ⑦バドミントン協会 ⑧卓球連盟 ⑨空手道連盟
⑩テニス協会 ⑪ソフトテニス協会 ⑫相撲連盟 ⑬バスケットボール協会
⑭野球連盟 ⑮ラグビーフットボール協会 ⑯サッカー協会 ⑰硬式野球連盟
⑱剣道連盟 ⑲ソフトボール協会 ⑳スキー協会 ㉑ボウリング連盟
㉒ボクシング協会 ㉓ホッケー協会 ㉔馬術協会
㉕アイスホッケー協会 ㉖スケート連盟 ㉗アーチェリー協会

(2) にいがたスーパージュニア育成事業 (3種目) 内訳：2,250,000円

オリンピックや国際大会等で活躍する選手の輩出に向け、全国トップレベルで活躍している選手・コーチ等を「にいがたスペシャルコーチ」として委嘱し、より一層のジュニア強化を図る。

- ・実施団体：①新潟市柔道連盟 ②新潟市ボクシング協会 ③新潟支部バドミントン協会

(3) 目指せオリンピック！医科学サポート事業 (3種目) 内訳：750,000円

選手強化の現場における傷害予防・コンディショニング調整を目的に、本協会が実施する「にいがたスーパージュニア育成事業」にスポーツトレーナーの派遣を行い、本市のさらなる競技力の向上を図る。

4 スポーツ少年団事業 (予算額：110,000円)

スポーツ少年団活動の目的達成のために、スポーツ少年団の普及・育成および活性化を図り、青少年の健全育成に資するため支援を行う。

(1) スポーツ少年団育成

スポーツ少年団の普及・育成および活性化を図り、青少年の健全育成に資するため、登録受付や大会等の事業を行う。

- ・登録期間：4月～7月
- ・本部会議：8月
- ・下越地区連絡協議会
- ・新潟市スポーツ少年団(クラブ)交流事業：10月6日「健康・体力づくりのつどい」
(対抗たすきリレーマラソン)
- ・地区スポーツ大会の開催等：通年

5 助成事業 (予算額：120,000円)

スポーツの普及・振興ならびに、その健全な発展を図ることを目的としたスポーツ大会に要する経費の一部を助成する。ただし、助成の事業については、加盟団体が主催若しくは主管として運営をする新規事業等に対して最長3年を目途に行う。

6 表彰（予算額：500,000円）

年間を通して顕著な成績をおさめたジュニア競技者と、アマチュアスポーツ界で最も活躍し、話題を提供した者を表彰する。

(1) ジュニア競技者表彰

将来あるジュニア競技者で顕著な成績をおさめた者で、さらなる活躍ならびにジュニア層の発展および競技力の向上に資することを目的とする。

- ・表彰式開催日：2020年2月上旬
- ・開催場所：市内ホテル
- ・表彰対象者：顕著な成績をおさめた小学生、中学生、高校生

(2) スポーツグランプリ表彰

アマチュアスポーツ界で最も活躍し、話題を提供した個人または団体に対して栄誉をたたえ、さらなる活躍と本市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。

- ・表彰式開催日：2020年2月上旬
- ・開催場所：市内ホテル
- ・表彰対象者：アマチュアスポーツ競技者

(3) 賛助会員への感謝状の授与

当協会の趣旨に賛同され長年にわたり、協力いただいている賛助会員に感謝状を贈る。

- ・開催日：2020年2月上旬
- ・開催場所：新潟市内ホテル
- ・授与対象者：永年賛助会員

7 国際交流事業（予算額：300,000円）

スポーツによる国際交流は、諸外国との相互理解と友好親善の促進に大きな役割を果たすとともに、競技力の向上とスポーツ振興に寄与することから、後援・助成をする。

(1) 国際ユースサッカーin新潟(後援)

2002FIFAワールドカップ開催の誘致に向け、1997年から新潟県サッカー協会等主催で開催している。

- ・開催日：7月13日～15日
- ・開催場所：デンカビッグスワン他
- ・参加年齢：U17の代表
- ・参加チーム：海外2チーム、日本代表、新潟県選抜の4チーム

(2) 日韓交流少年サッカー親善試合(共催)

2002FIFAワールドカップ日韓開催を契機に、新潟市、新潟市サッカー協会等が主催で韓国の開催一都市のウルサン市と少年サッカーの交流を行う。

- ・開催日：7月下旬
- ・開催場所：新潟市(隔年交互)
- ・参加チーム：新潟市選抜チーム、ウルサン市代表チーム

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の関連事業のほか加盟団体が実施主体となり、本市の魅力の世界にアピールしていくことを目的として、スポーツを通じた国際交流事業に対して支援を行う。

8 広報活動（予算額：470,000円）

当協会および加盟団体等の取り組みや活動内容について、スポーツの普及・振興ならびに市民から関心や理解を得るために、広報誌の発行やホームページによる情報発信を行う。

(1) 広報誌「躍動」の発行

スポーツの普及・振興を目的とし、年間を通し加盟団体の活動や活躍選手と当市のスポーツニュースを紹介する。

- ・発行時期：2月上旬
- ・発行部数：2,000部
- ・配布先：加盟団体、政令都市体育協会および関係団体

(2) ホームページ運営

- ・各種イベント、市民総合体育祭の開催告知や提出書類書式等の掲載
- ・「栄光の記録」の掲載（年2回）

9 区体育（スポーツ）協会支援事業（予算額：4,340,000円）

各区のスポーツ普及・振興を目的に区体育協会の事業運営に要する経費を事業内容に適した補助金を交付し支援する。

(1) 区体育（スポーツ）協会主要事業

- | | | |
|-------|---------|---------------------|
| ① 北区 | 700千円 | エンジョイスports in 北区 他 |
| ② 東区 | 420千円 | ジュニア技術講習会 他 |
| ③ 中央区 | 350千円 | 少年野球交流大会 他 |
| ④ 江南区 | 500千円 | ソフトボール大会 他 |
| ⑤ 秋葉区 | 350千円 | スポーツ振興大会 他 |
| ⑥ 南区 | 500千円 | 総合スポーツ大会 他 |
| ⑦ 西区 | 350千円 | 少年野球会長杯 他 |
| ⑧ 西蒲区 | 1,170千円 | 角田山一周ハーフマラソン大会 他 |

(2) 区体育協会代表者懇談会

- ・開催日：1月上旬 主要内容：事業紹介、情報交換 他

IV 法人事業

1 会議（予算額：365,000円）

(1) 理事会

- ・5月中旬 主要内容：事業報告書、収支決算書等の承認 他
- ・1月上旬 主要内容：ジュニア優秀競技者およびスポーツグランプリ被表彰者の審議・決定
- ・3月中旬 主要内容：事業計画書、収支予算書等の決議 他

(2) 評議員会

- ・5月下旬 主要内容：事業報告および収支決算書等の承認 他
- ・3月下旬 主要内容：事業計画書、収支予算書等の承認 他

(3) 専門委員会

- ・総務委員会 随時 主要内容：ジュニア優秀競技者等被表彰者候補の選考 他
- ・財務委員会 随時 主要内容：基本財産運用益に関すること 他
- ・普及・広報委員会 随時 主要内容：広報誌の概要検討 他
- ・育成・強化委員会 随時 主要内容：ジュニア強化事業および大会助成事業の選考 他

(4) 政令指定都市体育協会研究協議会

- ・期 日：2019年9月19日～20日 ・場 所：広島市内ホテル